

1章「最大／最小／平均」

中島康彦

§1. 1 今日の作業ディレクトリを作る

1. % `cd` ⇒ ホームディレクトリへ移動
2. % `mkdir chap13` ⇒ ディレクトリchap13を作成
3. % `cd chap13` ⇒ ディレクトリchap13へ移動
4. % `netscape`を使って`data13`を`chap13`へダウンロード
5. % `tar xvf data13` ⇒ サンプルデータの複写

`stat1.c`
`stat2.c`

§1.2 最大／最小／算術平均／幾何平均／調和平均

機能設計(入出力形式)

標準入力から整数を読み込む。

読み込んだ整数の総数を n とし、以下を表示する。

最大	... $\max(D1, D2, \dots, Dn)$
最小	... $\min(D1, D2, \dots, Dn)$
算術平均	... $(D1 + D2 + \dots + Dn)/n$
幾何平均	... $n\sqrt{D1 * D2 * \dots * Dn}$
調和平均	... $n/(1/D1+1/D2+ \dots +1/Dn)$

構成設計(内部データ構造)

総数を記憶する変数	... int型 n
最大値を記憶する変数	... int型 \max
最小値を記憶する変数	... int型 \min
算術平均を記憶する変数	... double型 arithmetic_mean
幾何平均を記憶する変数	... double型 geometric_mean
調和平均を記憶する変数	... double型 harmonic_mean

§1.3 最大= $\max(D1, D2, \dots, Dn)$

▶ 8ビット符号付き整数(char型)

```
10000000 ... -128(最小値)
11111111 ... -1
00000000 ... 0
```

▶ 4バイト符号付き整数(int型)の最小値

```
10000000000000000000000000000000 ... 0x80000000
```

▶ 変数 \max の初期値を表現可能な最小値とし、より大きなデータ値に置き換えていく。

```
int max=1<<(sizeof(int)*8-1); /*31bit左シフト*/
int data; /*読み込みデータの格納先*/
while (読み込みデータ⇒data)
    if (max < data) max = data;
```

▶ 最大値は、 \max に残る。

§1.4 最小=min(D1, D2, ..., Dn)

▶ 8ビット符号付き整数(char型)

```
00000000 ... 0
00000001 ... +1
01111111 ... +127(最大値)
```

▶ 4バイト符号付き整数(int型)の最大値

```
01111111111111111111111111111111 ... 0x7fffffff
```

▶ 変数minの初期値を表現可能な最大値とし、より小さなデータ値に置き換えていく。

```
int min = ~max;          /* maxのビット反転 */
int data;                /* 読み込みデータの格納先 */
while (読み込みデータ⇒data)
    if (min > data) min = data;
```

▶ 最小値は、minに残る。

§1.5 演算に関する留意点

C言語は整数桁溢れ例外を検出しない。

- ▶ 整数最大値+1は整数最小値として続行される。
- ▶ 最大値に近い整数や多数の整数を加算した場合、正しい結果かどうかはわからない。
- ▶ このような場合は、結果を浮動小数点数に蓄積する。

int型の加算結果は、より有効数字の多いdouble型へ蓄積する。有効数字の少ないfloat型は使えない。

```
int型    ...符号1ビット, 有効数字31ビット
2147479552+1    ⇒ 2147479553
double型 ...符号1ビット, 指数部11ビット, 有効数字52ビット
2147479552.0+1.0    ⇒ 2147479553.0
float型  ...符号1ビット, 指数部8ビット, 有効数字23ビット
2147479552.0+1.0    ⇒ 2147479552.0 のまま
```

§1.5 演算に関する留意点(続き)

整数除算の場合、小数点以下は切り捨てられる。

異なる型の間で演算を行う場合には、明示的に型変換を行う習慣をつけるべきである。

- ▶ 一般に、整数のみを含む演算はint型、浮動小数点数を含む演算はdouble型として行われる。
- ▶ 必要に応じて自動的に型変換が行われるが、誤解や思い込みがあると、問題究明に時間がかかる。

```
int i = 3;
int j = 2/i*10;      /* jは0 */
int k = 2.0/i*10;   /* kは6 */
```

int k = (int) (2.0/(double)i*10.0) と記述すべき。

§1.6 算術平均 = $(D1 + D2 + \dots + Dn) / n$

- ▶ 読み込みデータ数を累算する。
- ▶ 同時にデータを加算する。

```
int data;          /* 読み込みデータの格納先 */
int n = 0;         /* データ数を記憶する */
double arithmetic_mean = 0.0; /* 初期値0.0 */

while (読み込みデータ⇒data) {
    arithmetic_mean += (double)data; /* 型変換 */
    n++;                          /* nを1増やす */
}
```

- ▶ 算術平均は、arithmetic_mean/(double)n

§1.7 幾何平均= $n\sqrt{(D1 * D2 * \dots * Dn)}$

- ▶ 読み込みデータ数を累算する.
- ▶ 同時にデータを乗算する.

```
#include <math.h> /*関数pow()の定義が入っている*/
int data;          /* 読み込みデータの格納先 */
int n = 0;         /* データ数を記憶する */
double geometric_mean = 1.0; /* 初期値1.0 */

while (読み込みデータ⇒data) {
    geometric_mean *= (double)data; /* 型変換 */
    n++;                          /* nを1増やす */
}
```

- ▶ 幾何平均は, `double`を返す関数`pow(a, b)`を使うと
`pow(geometric_mean, 1.0/(double)n)`

§1.8 調和平均= $n/(1/D1 + 1/D2 + \dots + 1/Dn)$

- ▶ 読み込みデータ数を累算する.
- ▶ 同時にデータの逆数を加算する.

```
int data;          /* 読み込みデータの格納先 */
int n = 0;         /* データ数を記憶する */
double harmonic_mean = 0.0; /* 初期値0.0 */

while (読み込みデータ⇒data) {
    harmonic_mean += 1.0/(double)data; /*型変換*/
    n++;                          /*nを1増やす*/
}
```

- ▶ 調和平均は, `(double)n/harmonic_mean`
-

§1.9 関数呼出しに関する留意点

- ▶ 関数からの返り値は、通常、多くても1つである。
- ▶ `main()`からの返り値は、シェルに戻る。
- ▶ `exit(a)`はプログラムを終了し、`a`をシェルに返す。
- ▶ 以下の例では、`int`型を返り値とする関数`sub(a,b)`において、`a`と`b`の値を変更している。
- ▶ しかし、`j`と`k`に格納される値には、影響を与えない。

```
main() {
    int a=1, b=2, i, j, k;
    i = sub(a, b);      /* 返り値5がiに格納される */
    j = a; k = b;      /* jに1, kに2が格納される */
}
int sub(int a, int b) {
    a = 3;              /* 引数a,bの値を変更しても */
    b = 4;              /* 呼び出し元には影響しない */
    return(5);         /* 返り値は5 */
}
```

§1.9 関数呼出しに関する留意点(続き)

- ▶ 複数の返り値を必要とする場合、引数に格納させる。
- ▶ 呼び出し側は`&`演算子により変数のアドレスを渡す。
- ▶ 関数側は`*`演算子を使ってアドレスに直接書き込む。
- ▶ アドレスを保持する変数をポインタと呼ぶ。

```
main() {
    int a=1, b=2, i, j, k;
    i = sub(&a, &b);    /* 返り値5がiに格納される */
    j = a; k = b;      /* jに3, kに4が格納される */
}
int sub(int *a, int *b) {
    *a = 3;            /* a,bはポインタであり */
    *b = 4;            /* アドレスを保持している */
    return(5);        /* 返り値は5 */
}
```

§1. 10 標準入力からのデータ読み込み

関数 `scanf()` ... 代入に成功した個数を返す。

- ▶ 第1引数の書式に従い第2引数以降に順次格納する。
- ▶ すなわち、第2引数以降はポインタである。
- ▶ `scanf("%d", &data);` は、数字(文字列)を `int` 型の数値に変換し、変数 `data` に格納する。
- ▶ 第1引数の書式. `int` の代わりに `unsigned` 等でもOK.
 - `%d` ... 10進数とみなし `int` に変換. 引数は `int` へのポインタ.
 - `%o` ... 8進数とみなし `int` に変換. 同上.
 - `%x` ... 16進数とみなし `int` に変換. 同上.
 - `%f` ... `float` に変換. 対応引数は `float` へのポインタ.
 - `%lf` ... `double` に変換. 対応引数は `double` へのポインタ.
 - `%c` ... 1文字とみなし, 対応引数(`char` へのポインタ)へ格納.
 - `%s` ... 文字列とみなし, 対応引数(`char` へのポインタ)の先頭から順に格納.

§1. 11 標準出力へのデータ書き出し

関数 `printf()`

- ▶ 第1引数の書式に従い第2引数以降を順次出力する。
- ▶ 以下の例では、各々の型の数値を文字列に変換して、出力する。

```
printf("n=%d max=%d min=%d\n", n, max, min);
```
- ▶ 第1引数の書式. `int` の代わりに `unsigned` 等でもOK.
 - `%d` ... 符号付き10進数として出力. 引数は `int`.
 - `%u` ... 符号無し10進数として出力. 引数は `int`.
 - `%o` ... 符号無し8進数として出力. 引数は `int`.
 - `%x` ... 符号無し16進数として出力. 引数は `int`.
 - `%e` ... `[-]d.ddde+-dd` として出力. 引数は `double`.
 - `%f` ... `[-]ddd.ddd` として出力. 引数は `double`.
 - `%g` ... 指数の大きさに応じて `%f` または `%e` にて出力.
 - `%c` ... 1文字として出力. 引数は `int`.
 - `%s` ... 文字列として出力. 引数は `char` へのポインタ.
 - `%%` ... `%` 文字を出力.

§1. 12 プログラムにまとめる(stat1.c)

```
static char RcsId[] = "$Header$"; /* RCSを使うと日付/版数/作者などに置き換わる */
#include <stdio.h>
#include <math.h>
main()
{
    int data;
    int n = 0;
    int max = 1<<(sizeof(int)*8-1), min = ~max;
    double arithmetic_mean = 0.0;
    double geometric_mean = 1.0;
    double harmonic_mean = 0.0;

    while (scanf("%d", &data) == 1) { /* 数字以外を入力すると終了する */
        if (max < data) max = data;
        if (min > data) min = data;
        arithmetic_mean += (double)data;
        geometric_mean *= (double)data;
        harmonic_mean += 1.0/(double)data;
        n++;
    }
    printf("n=%d max=%d min=%d\n", n, max, min);
    printf("arithmetic_mean=%g\n", arithmetic_mean/(double)n);
    printf("geometric_mean =%g\n", pow(geometric_mean, 1.0/(double)n));
    printf("harmonic_mean =%g\n", (double)n/harmonic_mean);
    exit(0);
}
```

§1. 13 入力データに0があると異常終了

0除算例外(Floating exception)が発生し得る。
入力データ中の0を検出して調和平均を止める。

▶ 制御変数の追加

```
int disable_harmonic_mean = 0;
```

▶ 0検出の追加

```
if (!data)
    disable_harmonic_mean = 1;
if (!disable_harmonic_mean)
    harmonic_mean += 1.0/(double)data;
```

▶ レポートの追加

```
if (!disable_harmonic_mean)
    printf("harmonic_mean =%g\n", ...
else
    printf("harmonic_mean =N.A.\n");
```


§1. 14 改良版(stat2.c)

```
static char RcsId[] = "$Header$";

#include <stdio.h>
#include <math.h>

main()
{
    int data;
    int disable_harmonic_mean = 0;
    int n = 0;
    int max = 1<<(sizeof(int)*8-1), min = ~max;
    double arithmetic_mean = 0.0;
    double geometric_mean = 1.0;
    double harmonic_mean = 0.0;

    while (scanf("%d", &data) == 1) {
        if (max < data) max = data;
        if (min > data) min = data;
        arithmetic_mean += (double)data;
        geometric_mean *= (double)data;
        if (!data)
            disable_harmonic_mean = 1;
        if (!disable_harmonic_mean)
            harmonic_mean += 1.0/(double)data;
        n++;
    }

    printf("n=%d max=%d min=%d\n", n, max, min);
    printf("arithmetic_mean=%g\n", arithmetic_mean/(double)n);
    printf("geometric_mean =%g\n", pow(geometric_mean, 1.0/(double)n));
    if (!disable_harmonic_mean)
        printf("harmonic_mean =%g\n", (double)n/harmonic_mean);
    else
        printf("harmonic_mean =N.A.\n");

    exit(0);
}
```

§1. 15 コンパイルと実行

1. コンパイルする.

```
% gcc stat2.c -o stat2
/var/tmp/ccFy10171.o: In function `main':
/var/tmp/ccFy10171.o(.text+0x10c):
                                undefined reference to `pow'
```

2. 数学関数を使うには、ライブラリをリンクしなければならない.

```
% gcc stat2.c -o stat2 -lm
```

3. 実行

```
% ./stat2
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
e
n=10 max=10 min=1
arithmetic_mean=5.5
geometric_mean =4.52873
harmonic_mean =3.41417
```

§1. 16 例題

実は, `stat2.c`の対処は不十分である. `stat2.c`を異常終了させる入力データを考え, 以下をレポートせよ.

- ▶ 異常終了させる入力データ
- ▶ 実行結果
- ▶ 異常終了の理由
- ▶ 問題箇所(`stat2.c`のどの部分であるか)

§1. 17 今日の課題

全入力データが4294967296の時, 平均値は0になる. 全入力データが2147483648の時, 平均値は-2147483648になる. この理由を述べよ. また, `./stat2`で入力可能な正しいデータの上限値は何かを示せ.

宛先: `nakashim@econ.kyoto-u.ac.jp`
件名: `unix2-学生番号`

今日はここまで